

「旧日向別邸、市だけのものではない」

ベルリン建築家協会
独リン支部長の手紙

保存会から市長に

記念建築物としての修理要望

熱海市春日町の旧日向別邸（ブルーノ・タウト熱海の家）の維持・保存に取り組み「旧日向別邸保存会」の中井正勝会長らが十四日、市役所に斉藤栄市長を訪ね、ドイツ建築家協会ベルリン支部長から託された手紙を届けた。



ドイツ建築家協会ベルリン支部長からのメッセージを
斉藤市長(左)に手渡す中井会長＝熱海市役所で

「壁や床における湿気
損傷は記念建築物保護の
方法で修理されなければ
なりません。ブルーノ・
タウトの作品は将来も御
地で美しさと文化として
残り、興味ある参観者を
迎えますが、単に熱海市
だけのものではないので
す」と手紙につづってい

事務局長の矢崎英夫さ
ん、藤曲敬宏市議とも
に斉藤市長を訪ねた中井
会長は、四月に発足した
ばかりの保存会について

紹介。「旧日向別邸は素
晴らしい建物という評価
や、活用を考えてほしい
という意見もいたしてい

る。保存会は立ち上が
ったばかりだが、行政に
いろいろ提案して、熱海

発展のための活動がとも
にできればいいと思っ
ている」と話し、エドマイ

ヤー支部長からのメッセ
ージを手渡した。

斉藤市長は「保存会や
市民の力を借りながら市

同会員で、タウト研
究の第一人者として知ら
れるお茶の水女子大名誉
教授の田中辰明さんが今
春、ドイツを訪問した
際、旧日向別邸の保存活
動への協力を呼びかけた
ところ、ドイツ建築家協
会ベルリン支部のクリス
チーネ・エドマイヤー支
部長から熱海市長あての
手紙が託されたという。

エドマイヤー支部長は

「エドマイヤー支部長は

としてできることを最大
限やっていきたい。旧日
向別邸は熱海の財産であ
ると同時に世界の財産と
いう認識をもってやっ
ていきたい」と語り、協力
を呼びかけた。
旧日向別邸は実業家日
向利兵衛氏の別荘の離れ
として一九三六年に建て
られた。その地下室はド
イツ出身の建築家ブルー
ノ・タウトが設計してい
る。日本に現存する唯一
のタウト設計の建築物
で、国の重要文化財に指
定されている。建物は二
〇〇四年に市の所有とな
った。